

市民ホール周知イベント(2017年6月3日開催)報告

<実施概要>

開催日時：2017年6月3日(土) 10:30~18:30

開催場所：イオンモール苫小牧

1階ウエストコート内特設スペース

実施内容：

- ・ 基本構想・基本計画、建設地に係る市の考え、市民ホールが目指すサードプレイスについての説明パネルの展示
- ・ 事業アイデアのパネル展示と来場者の気に入った事業アイデアへのシール投票
- ・ 現市民会館周辺の模型展示
- ・ 来場者へのアンケート



<事業アイデアへの関心>

ワーキンググループ及び検討委員会での議論をもとに作成した63の事業アイデアについて紹介するとともに、来場者の関心の傾向とその理由を把握しました。

事業アイデアは「育てる」「集う」「知る」「関わる」「つなぐ」という5つのコンセプトに分けられますが、関心の高かったアイデアはこのコンセプトの全体に渡っており、特に子どもと大人が共に楽しめる事業に関心が集まりました。また、「食」も文化であるという考え方に共感が得られました。

関心の高かった事業アイデアと意見抜粋

「手作り食堂 in 市民プラザ」：134枚

地域の方々や子どもたちがスタッフとして主体的に参画することのできるコミュニティ・レストラン

- ・ 料理教室に興味がある。教えてもらえる。
- ・ 市民会館で働いているが、こういう食堂があったらいいと思う。

「子どものわくわく社会見学」：100枚

子どもや子連れの家族の気軽な施設利用を目指した、子どもを対象とした職業体験等のイベントの実施

- ・ 小さな子どもでも勉強になるし、いろいろな体験ができるし、素晴らしいと思う。必要性がある。
- ・ 子ども目線の取組がいいと思う。

「苫小牧の味を守る会」：89枚

苫小牧のソウルフードを市民みんなで調理し、楽しみながら伝えていく市民団体

- ・ 料理教室で教えてくれるとよい。みんなで一緒に作れると嬉しい。家族にとって良い。
- ・ 苫小牧独自の味があったらいいんじゃないか。

「ソロデビューへの道」：86枚

文化・芸術活動を趣味で行う市民に講習会・個展・発表等の機会を提供するプログラム

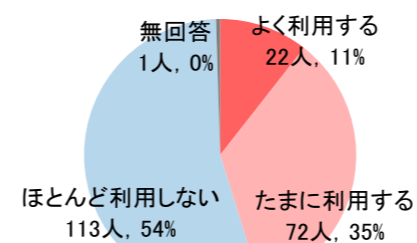
- ・ 習い事をしていても、ホールの舞台に立てるような機会がないので、そういう機会は欲しい。

<参加データ>

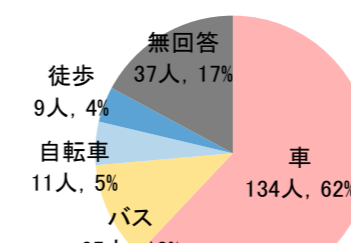
参加者数：約600名

アンケート回答者：233名(市内208 市外25)

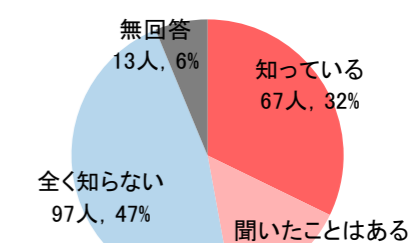
※回答者のうち市内の208名を対象に集計・分析



市民会館や文化会館の利用



交通手段

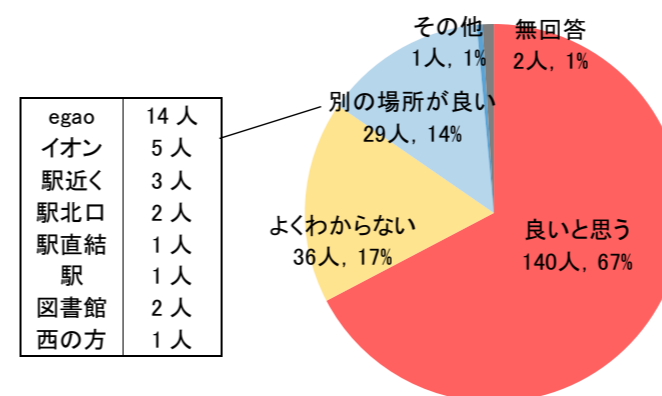


市民ホール建設について

建設地について

検討項目とともに、市の方針を説明しました。

62%以上の方から、市の考えである現東小学校敷地に賛成との意見が得られました。



市の考えに対する意見

市民ホールに望むことについて

飲食スペースや遊び場の意見が多く、その他の意見としては集会スペースを望む意見などが見られました。

作ってほしいもの	回答者数
飲食スペース	135人
図書コーナー	68人
遊び場	81人
談話スペース	39人
その他	14人
- 集会スペース	5人
- くつろぎの場	4人
- 運動スペース	2人
- オープンスペース	2人
- 緑のスペース	1人

新しい市民ホールに作ってほしいもの

<当日の様子>



シールによる投票



模型の展示



来場者への説明